

DIGITAL SOUND STATION デジタル サウンド ステーション

ユーザーガイド

User Guide

SK - DSS

Version1.1

<http://www.sknet-web.co.jp>

目次

はじめに	1
特徴	1
著作権等に関して	1
パッケージ内容物の確認	2
動作環境	2
デジタル・サウンド・ステーション各部の名称と機能	3
デジタル・サウンド・ステーション使用例	3
ドライバのインストール(Windows)	5
Windows98SE の場合	5
WindowsME/2000 の場合	7
WindowsXP の場合	10
サウンドの設定	11
Windows98SE/ME/2000 の場合	11
WindowsXP の場合	13
ドライバのインストール(Mac の場合)	15
サウンドの設定	15
Mac OS9.0.4 以降の場合	15
Mac OSX(10.1.3 以降)の場合	16
Mac OS9.0.4 以降の録音と再生方法	17
付属ソフト SonixUA.exe について (Windows のみ対応)	18
付属ソフト PowerDVD について (Windows のみ対応)	20
ユーザー登録	22
ユーザーサポート問い合わせ先	22
Copyright	22

はじめに

この度はデジタル・サウンド・ステーション(Digital Sound Station 以下デジタル・サウンド・ステーション)をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。 デジタル・サウンド・ステーションは、 デジタル光入出力・アナログ入出力及びUSB1.1 ハブ(2ポートAタイプ)を備えたUSB接続・デジタル サウンド インターフェイスです。

製品本体をパソコンとUSBで接続する事により、 パソコン内部のノイズに影響されずに、 高品位な音声環境を実現する事が出来ます。 また付属のPowerDVD XP バンドル版を使用して本格的な5.1chドルビーサラウンド環境を作成する事も可能です。

(別途S/PDIF光デジタル入力可能な5.1chスピーカーシステムが必要です。)

製品をご使用になる前に本書をよくお読み頂き正しくお使い下さい。

本製品は精密機器です、 高温多湿を避け強い衝撃を与えないで下さい。

特徴

USB接続によりパソコン内部のノイズに影響されません。 また、 ノートパソコンやスリムタイプのパソコンでも簡単に接続する事が出来ます。

Windows・Macintoshの両パソコンに対応し、 どちらも専用ドライバーのインストールが必要なく、 接続してすぐにお使い頂けます。

アナログ入出力とS/PDIF光デジタル入出力端子(角型)を装備。 CS/BSデコーダーやコンボ等の光デジタルや、 カセットテープ・レコードプレーヤーなどのアナログ接続まで、 さまざまな機器を接続し、 パソコンで録音する事が出来ます。 パソコン内部のデジタルデータは自由に編集したり、 データベース化してデジタルデータのままMDやDATなどへ出力する事が出来ます。

MacintoshではS/PDIF光デジタル入力はお使い頂けません。

縦置き、 横置きどちらでもお使い頂けるスマートな外観に仕上げました。 小型で操作部分や外部から電源を取る必要も無い為、 持ち運びにも最適です。

著作権等に関して

本製品を使用して他人の著作物(ビデオ・テレビ・インターネット送信によって取得できる音声等)を録音する場合、 有償・無償を問わず、 著作権ならびにその他の権利を侵害する場合があります。 本製品を使用して作成・複製した著作物および音声等に関する著作権及びその他の法律に関するいかなる侵害についても、 弊社では一切の責任を負いかねますので、 予めご了承の上個人の責任においてご使用下さい。

本書の一部あるいは全部について、 エスケイネット株式会社から文書による許諾を得ずにいかなる方法においても無断複写、 及び複製することを禁じます。

パッケージ内容物の確認

お買い上げ頂いた製品パッケージに、下記の物が含まれているか確認して下さい。万一不足等がある場合には、お買い上げ頂いた販売店もしくは弊社サポートセンターまでご連絡下さい。

- ・ デジタル・サウンド・ステーション本体 × 1
- ・ 本体接続用 USB ケーブル × 1
- ・ S/PDIF デジタル光ケーブル × 1
- ・ S/PDIF デジタル光ケーブル用角型端子 丸型端子変換コネクタ × 1
- ・ 付属ソフトウェア CD-ROM × 1
- ・ ユーザーガイド
- ・ ユーザー登録はがき / 保証書 × 1

動作環境

動作環境

対応 OS : Microsoft Windows 98SE/Me/2000/XP 及び Apple Macintosh MacOS9.0.4 以降
MacOS X(10.1.3 以降)対応

64MB 以上のメインメモリ(128MB 以上推奨)

CD-ROM ドライブ(アプリケーションインストール時)

800x600 ドット 16bit カラー以上のディスプレイアダプターおよびモニター

USB1.1 以降の空きポート 1 つ

バンドル版 PowerDVD XP 動作時

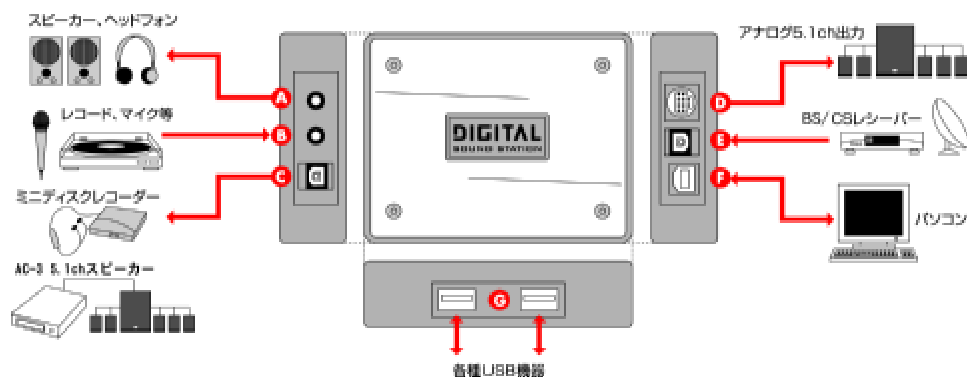
- ・ Pentium 700MHz 以上
- ・ 128MB 以上のメインメモリ
- ・ Direct Draw,Overlay をサポートする VGA

サイバーリンク PowerDVD XP バンドル版は、アプリケーションの動作環境に準拠します。
PowerDVD XP の動作環境等詳しくはサイバーリンクへお問い合わせください。

ご注意 上記条件を満たした全ての環境での動作を保証するものではありません。

デジタル・サウンド・ステーション各部の名称と機能

接続図



各部名称の略称

デジタル・サウンド・ステーションの使用例

CS/BSチューナーからデジタル録音する。接続図のE

CS/BSチューナー等のS/PDIF出力からデジタルデータのままダイレクトにPCへ録音することができます。



1. CD-ROMやミニコンボなどS/PDIF光出力端子も接続する事ができます。
2. この機能はMacintoshでは動作しません。

レコードプレーヤーやカセットテープから録音する。接続図のB

お持ちのレコードやアナログテープ等のデータをパソコンでデジタル録音する事ができます。



MD や DAT にデジタル出力する。 接続図の C

パソコンの MP3 や WMA、A IFF など音楽ファイルをデジタルのまま MD や DAT へ直接録音することができます。



パソコンで DVD を見る時も、5.1ch サラウンドで再現する。 接続図の C

付属のサイバーリンク「PowerDVD XP バンドル版」とデジタル・サウンド・ステーションを使用すれば、パソコンで DVD ビデオを再生する際、音声は S/PDIF 光デジタル端子から出力して、AC-3 デコーダーを搭載した 5.1ch サラウンド・スピーカーで迫力のドルビー・デジタル・サラウンドをお楽しみ頂けます。



1. 別途ドルビー・デジタル・サラウンドに対応し、S/PDIF 光デジタル入力可能な 5.1ch スピーカーシステムが必要です。
2. この機能は Macintosh では動作しません。

DVD 以外のサウンドもバーチャル 5.1ch で再生する。 接続図の D

AC-3 デコーダーを搭載していない 5.1ch スピーカーでも、付属の専用ユーティリティを使用する事で、バーチャル 5.1ch を再現することができます。



1. 付属の PowerDVD XP バンドル版以外で音声ファイルを再生する場合、付属の SonixUA.exe ユーティリティを使用する事でバーチャル 5.1ch 出力することができます。詳しくは「 付属ソフト SonixUA.exe について (Windows のみ対応)」の項目を参照して下さい。
2. この機能は Macintosh では動作しません。

ドライバーインストール (Windows の場合)

お使いのパソコンにデジタル・サウンド・ステーションを接続します。デジタル・サウンド・ステーションに必要なドライバーファイルは予めOS (Windows 及びMacOS) にインストールされていますので本体を接続するだけの簡単な操作ですぐにお使い頂けます。

Windows98SE の場合

1. デジタル・サウンド・ステーションをパソコンに接続した後、Windows を起動すると自動的に新しいデバイスを認識して「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動し、自動的に認識されます。

2. 「次の新しいドライバー ~ 汎用 USB ハブ」の画面が出ます。



3. 右の場面が表示されるので「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」にチェックを入れてください。



4. 右の画面が表示されたらチェックボックスを全て外した状態にし、次へをクリックし、画面の指示に従いインストールします。



5. 以上で「汎用ハブ」のインストールは終了です。

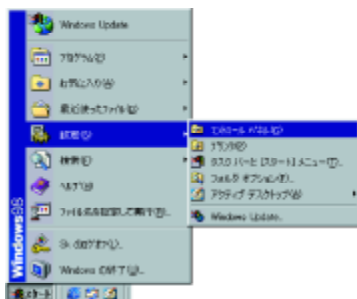
6. 続けて「USB 互換デバイス」と「USB オーディオ デバイス」の各ドライバをインストールします。上記「2」～「5」と同じ手順を 2 回繰り返してインストールして下さい。



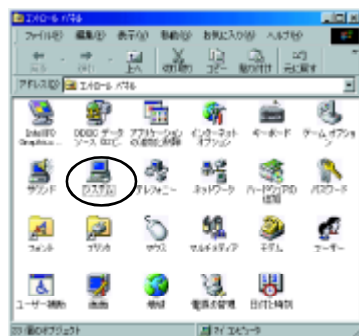
インストールの確認(Windows98SE の場合)

デジタル・サウンド・ステーションが正常に認識されているか確認します。

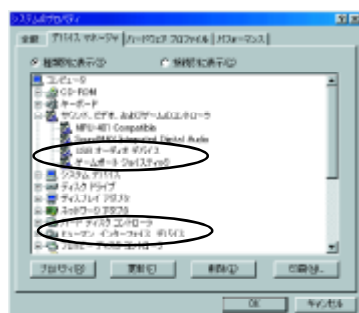
1. 「スタート」 「コントロールパネル」 「システム」を開きます。



2. 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。



3. 右の画面で「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」をクリックし、「汎用 USB ハブ」が表示されているか確認します。「USB 互換デバイス」続いて、「ヒューマンインターフェイスデバイス」、「サウンド及びゲームのコントローラ」をクリックし、「USB オーディオ デバイス」が表示されていることを確認します。



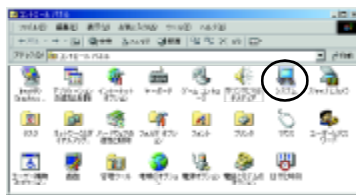
4. 確認できたらインストールが正常に完了しています。

WindowsMe/2000 の場合

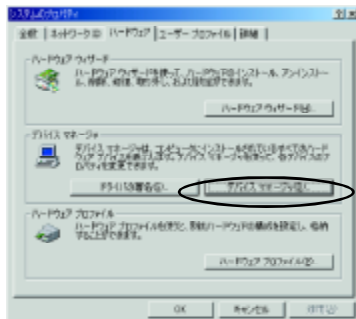
お使いのパソコンにデジタル・サウンド・ステーションを接続します。デジタル・サウンド・ステーションに必要なドライバーファイルは予めOS（Windows 及びMacOS）にインストールされていますので本体を接続するだけの簡単な操作ですぐにお使い頂けます。

インストールの確認（WindowsMe/2000 の場合）

1. 「スタート」 「コントロールパネル」 「システム」を開きます。

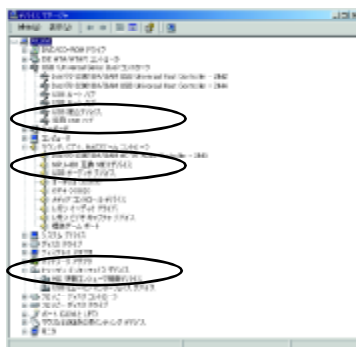


2. 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。



3. 右の「デバイスマネージャ」内に下記のドライバーが表示されていれば正常です。

- USB(Universal Serial Bus)コントローラ
- : 汎用 USB ハブ
- サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ
- : USB オーディオデバイス
- ヒューマンインターフェイスデバイス
- : USB ヒューマンインターフェイスデバイス
- : HID 準拠消費者制御デバイス



4. 確認できたらインストールが正常に完了しています。

Windows Me で汎用 USB ハブ、USB 互換デバイスの表示にエラーマークが出ていた場合、次のページをご参照下さい。

Windows Me のデバイスマネージャーで「？」がでる場合

前ページでインストールの確認をした際、右の画面のように「USB 互換デバイス」と「汎用 USB ハブ」にエラー表示が出る場合があります。この場合、デジタル・サウンド・ステーションの動作には全く問題ありませんが、下記の手順で正常に表示する事ができます。

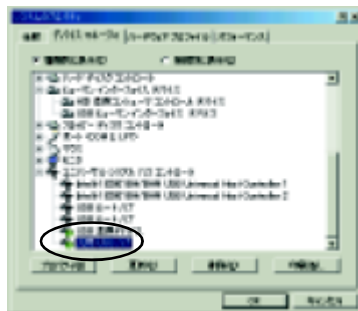
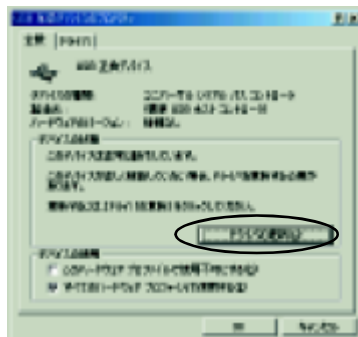


図 1

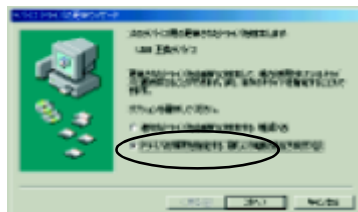
1. 前ページの「インストールの確認」を参考に「スタート」「コントロールパネル」「システム」から「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

2. 図 1 のようにエラーの表示がある「USB 互換デバイス」をクリックします。

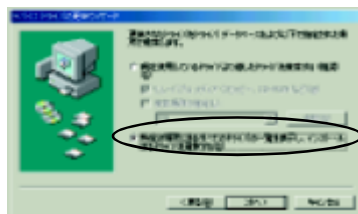
3. 「全般」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックします。



4. 右の「次のドライバの更新～」を「ドライバの場所を指定します」を選択します。



5. 右の「更新されたドライバ～」の画面が表示され「特定の場所にあるすべての～」を選択します。



6. 「ハードウェアの製造元とモデルを選択して下さい。～」で「USB 互換デバイス～」を選択します。



7. 画面の指示に従い進んでいきます。



8. 「汎用 USB ハブ」も同様に「1」～「5」の手順で進んでいきます。

・「ハードウェアの製造元とモデルを選択して下さい～」では「汎用 USB ハブ～」を選択します。



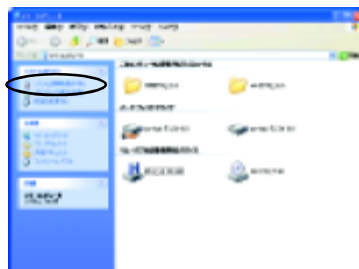
以上で終了です。8 ページのインストールの確認方法で確認して下さい。

WindowsXP の場合

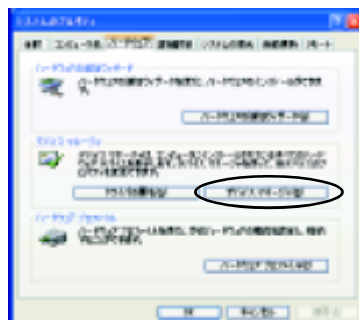
デジタル・サウンド・ステーションをパソコンに接続した後、Windows を起動すると自動的に新しいデバイスを認識して「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。

インストールの確認 (WindowsXP の場合)

1. 「スタート」 「コントロールパネル」 「システム」を開きます。

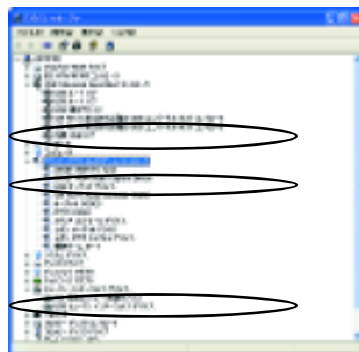


2. 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。



3. 右の「デバイスマネージャ」内に下記のドライバーが表示されていれば正常です。

- USB(UniversalSerialBus)コントローラ
- : 汎用 USB ハブ
- サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ
- : USB オーディオデバイス
- ヒューマンインターフェイスデバイス
- : USB ヒューマンインターフェイスデバイス
- : HID 準拠コンシューマ制御デバイス



4. 確認できたらインストールが正常に完了しています。

サウンドの設定

お使いのパソコンで、デジタル・サウンド・ステーションが正常に動作するように設定します。

Windows98SE/Me/2000 の場合

1. 「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「サウンドとマルチメディア」もしくは「マルチメディア(98SE の場合)」を開きます。
2. 「オーディオ」タブをクリックし、「音の再生」の「音量」(98SE は再生の下にあるボタン)をダブルクリックし「ボリュームコントロール画面」を表示させます。

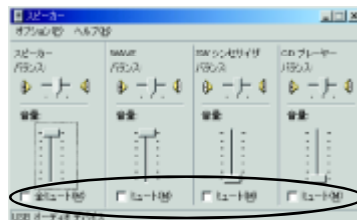
(98SE の画面)



(Me/2000 の画面)



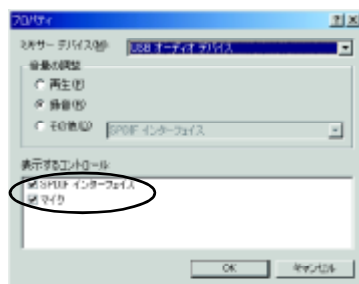
3. 画面の下にあるミュートのチェックをすべてはずした状態にします。



4. 「2」のプロパティ画面に戻り、「録音」の「音量」ボタンをクリックし「キャプチャ」の画面を表示させます。



5. 右の画面の「オプション」から「プロパティ」から「マイク」と「SPDIF インターフェイス」の両方にチェックマークを入れ「OK」をクリックします。



6. 使用する音声入力ソースに合わせて「選択」のチェックボックスにチェックします。



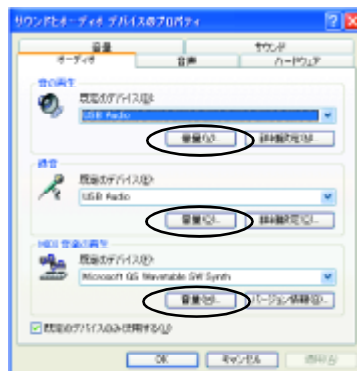
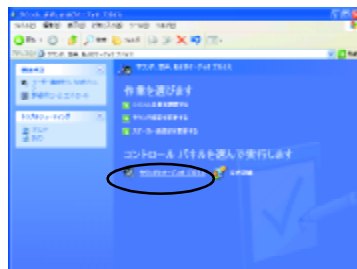
S/PDIFから入力する場合はこの「選択」にチェックします。

アナログマイク入力から入力する場合はこの「選択」にチェックします。

1. 「スタート」 「コントロールパネル」 「サウンド音声
及びオーディオデバイス」を開きます。



3. 右の画面の「オーディオ」タブ内「音の再生」の「既定のデバイス」に「USB Audio」を選択し、「音量」ボタンをクリックし「ボリュームコントロール画面」を表示させます。

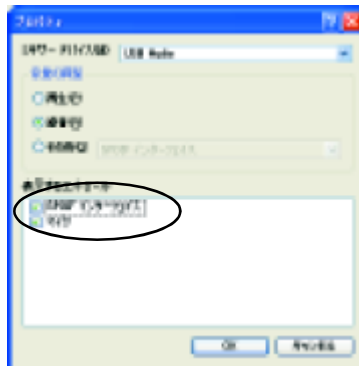


4. 画面の下にあるミュートのチェックをすべてはずした状態にします。



5. 「3」の画面に戻り、「録音」項目の「音量」をクリックし「キャプチャ」の画面を表示させます。

6. 右の画面の「オプション」「プロパティ」を表示します。



7. 右の画面の「マイク」と「SPDIF インターフェイス」の両方にチェックマークを入れ「OK」をクリックします。

8. 使用する音声ソースに合わせて「選択」のチェックボックスにチェックします。



S/PDIFから入力する場合はこの「選択」にチェックします。

アナログマイク入力から入力する場合はこの「選択」にチェックします。

ドライバーインストール (Mac の場合)

デジタル・サウンド・ステーションの動作に必要なドライバーファイルは、すでにMacOS 9.0.4以降及びMacOS X (10.1.3以降) 内に組み込まれています。お使いのMacにデジタル・サウンド・ステーションを接続するだけですぐにお使い頂けます。

サウンドの設定

MacOS 9.0.4 以降の場合

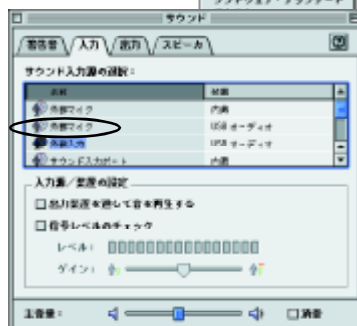
コントロールパネルの機能拡張マネージャで、MacOS 基本のセットに変更します。

1. アップルメニューから「コントロールパネル」「サウンド」を開きます。

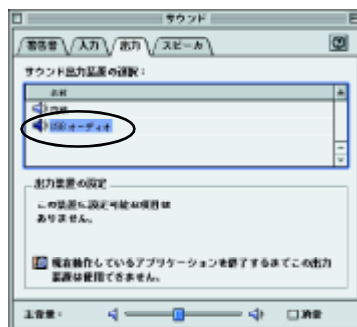


2. 右の画面の「入力」タブをクリックし「外部マイク」「USB オーディオ」を選択します。

「外部入力」は使用できません。



3. 「出力」タブをクリックし「USB オーディオ」を選択します。



3. 「スピーカー」タブをクリックし、「テスト開始」をクリックすると「デジタル・サウンド・ステーション」に接続されているアナログスピーカーから音声再生されます。

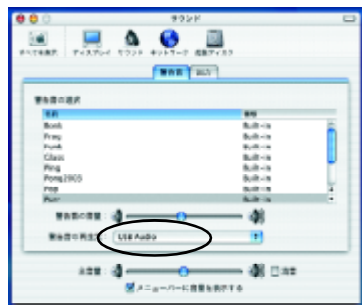


Mac OSX(10.1.3 以降)の場合

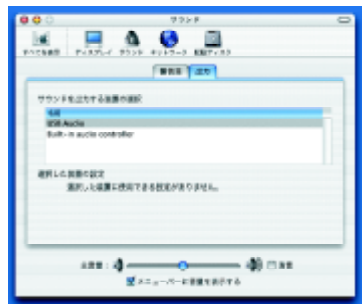
1. アップルメニューから「システムの環境設定」「サウンド」を開きます。



2. 「警告音」タブをクリックし「USB Audio」を選択します。



3. 同様に「出力」タブ内でも「USB Audio」を選択します。以上で設定は終了です。



MacOS 9.0.4 以降の録音と再生方法

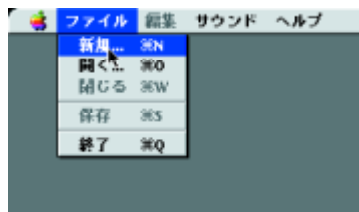
MacOS に標準で付属している「Simple Sound」を使用して、デジタル・サウンド・ステーションのアナログ入力からの音声を録音、再生します。長時間の録音や、ステレオでの録音はMacOS に付属している iMovie やフリー / シェアウェア等を使用します。

iMovie やフリー / シェアウェアの詳細に関しては、各アプリケーションに付属しているマニュアルやヘルプファイルを参照して下さい。

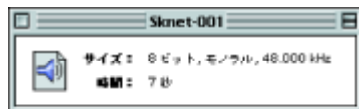
1. 「apple エクストラ」 「SimpleSound」を開きます。



2. ファイルメニューから「新規」を選択します。



3. 右の「録音」ボタンを押します。



4. ファイルを保存します。保存したファイルをダブルクリックすると、Quick Time Playerなどで再生されます。



付属ソフト SonixUA.exe について(Windows のみ対応)

このユーティリティを使用する事で、ステレオ 2ch サウンドをバーチャル 5.1ch サウンドとして、お楽しみ頂けます。

バーチャル 5.1ch サウンドの再生には、G 9 コネクターで接続できる、5.1ch サウンドスピーカーが必要です。使用例 4 ページ 参照



インストール方法

1. CD-ROM をセットし「Sonix」フォルダを開き、SonixUA_japan.exe をダブルクリックします。



2. 画面の指示に従い進んでいきます。

3. Finish をクリックします。

4. パソコンを再起動します。



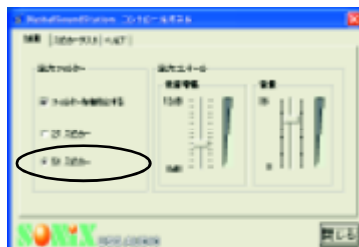
操作方法

1.5.1ch スピーカーを G9 コネクターを使用して、デジタル・サウンド・ステーションを接続します。

2. タスクバーに新しくできたマークをクリックし「開く」を選択します。



3. 「効果」のタブをクリックし、「5.1 スピーカー」を選びます。



4. 「スピーカーテスト」を選び「マニュアル」のラジオボタンにチェックして、「テスト」ボタンをクリックします。



各スピーカーのアイコンをクリックして、音が出ているか確認します。

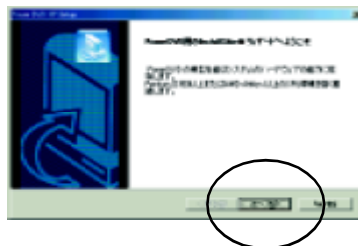
この機能はS/PDIF光デジタル出力では動作しません。

付属ソフト PowerDVD XP について (Windows のみ対応)

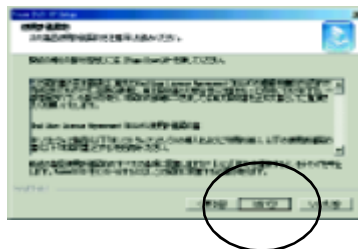
付属の Cyber Link PowerDVD XP を使えば、DVD タイトルを映画館のような 5.1ch デジタルサウンドでお楽しみ頂けます。

インストール方法

1. CD-ROM をセットし「Powerdvd」フォルダを開き、
setup.exe をダブルクリックします。

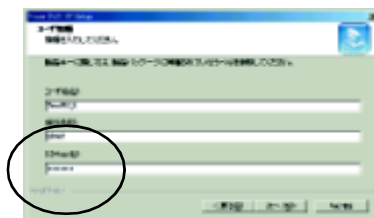


2. 画面の指示に従って「はい」をクリックして進みます。

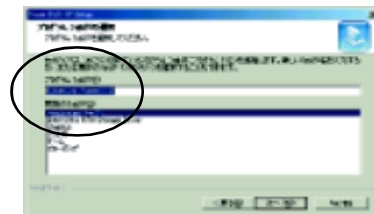


3. 添付のユーザー登録はがきに添付されている PowerDVD XP のシリアルナンバーを入力し、画面の指示に従い進みます。

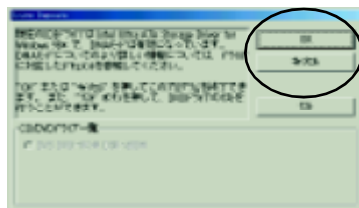
付属 PowerDVD XP のシリアルナンバーは、再発行出来ませんので大切に保管して下さい。



4. インストール先のフォルダを指定します。デフォルトのままでよければそのまま「はい」をクリックします。



5. 完了をクリックすると右の画面が表示されるので「OK」をクリックします。もしDMAモードが無効になっている場合はパソコン又は、マザーボードのメーカーにDMAモードに対応しているドライバーについてお問い合わせ下さい。




6. デスクトップに右のアイコンが作成されます。



操作方法

1. デスクトップにできたアイコンをクリックすると右の画面が表示されます。

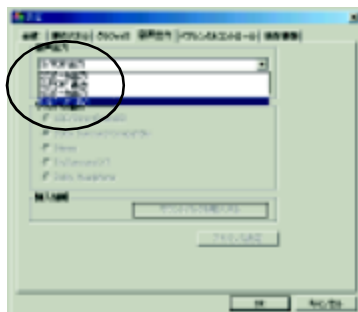


2. 右の画面の  ボタンをクリックします。



3. お使いのスピーカーがAC-3デコーダー搭載5.1スピーカー（5ページを参照）の場合、「音声出力」のタブをクリックし、「S/PDF」を選びます。

お使いのスピーカーがAC-3デコーダを搭載していない5.1スピーカーの場合、「音声出力」のタブをクリックし、「6スピーカー」を選択します。



以上で終了です。

注意

- 上記音声出力モードを変更する場合、DVDが再生の状態では変更出来ません。一旦再生を停止してから変更を行ってください。
- PowerDVD XP に関して詳しくはアプリケーションのヘルプ等を参照して下さい。

ユーザー登録

本製品をご使用になる際は必ずユーザー登録をして下さい。ユーザー登録をされていない場合本製品に関して弊社が提供する一切のサポートを受けられません。

また、ユーザー登録をされていない場合、弊社サポートセンターでのお電話及びFAX等のサポートサービスを事前のご連絡無しにお断りさせて頂く場合がありますので、予めご了承ください。

ユーザー登録は、パッケージに付属しているユーザー登録はがきの内容にもれなくご記入の上、切手を貼って投函して頂くか、下記弊社のホームページでもオンライン登録して頂けます。

<http://www.sknet-web.co.jp>

上記アドレスにアクセスし、「ユーザー登録」のページからご登録下さい。

ユーザーサポート問い合わせ先

お問い合わせ先

エスケイネット株式会社

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜2-17-2 フォンターナ新横浜3F

サポート TEL : 045-470-3973 月～金 13:00～17:00

FAX : 045-470-3609 24時間（回答までに多少お時間を頂く事があります。）

Copyright

Windows(R)は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Appleのロゴ及び名称、MacOSはアップルコンピュータ株式会社の登録商標です。その他商品名は一般に各社の商標もしくは登録商標です。本製品は改善の為、予告なしに仕様変更をおこなうことがあります。本文中では商標記号等は省略しています。

